

●第2回勉強会●「協働のしくみを考える・第1弾

東村山市における行政とNPOの協働事例発表】

日時:9月26日(日) 14~16時 / 会場:市民センター

参加者数:38名

事例報告:4つの協働事業の事例発表および、それぞれの課題をグループワークで検討



〈協働事例〉

NPO法人東村山子育て支援ネットワークすずめ 「子育て預かりサポート たんたん」

地域で子育てをしている保護者に対してリフレッシュし、安心して子育てができるように短時間の一時預かり行う。対象は1~3歳。9時から4時までのうち、3時間まで1人月4回まで利用可。無料。

NPO法人HUGこどもパートナーズ

「2か月の赤ちゃんとママのおしゃべりタイム」

産後、3~4ヶ月健診までは夫婦での子育てとなり、日中は母親が1人で子育てしているなか、孤独感や不安感が高まってしまう。早期に集まる場を設けることで外出の機会の提供と不安の解消をねらう。

協働を学ぶ会

H22年度の活動報告

●第1回勉強会●「市民との協働が進んでいる自治体から学ぼう」

日時:6月13日(日) 10~14時 / 会場:市民センター

参加者数:54名

シンポジスト: 三鷹市のNPO法人「子育てコンビニ」代表理事 小林七子さん

NPO法人みたか市民協働ネットワーク 事務局長 井上 仁さん

コーディネーター: 企画政策課 東村課長

市民 協働課 大西課長

午前中は、市職員とNPO3団体の参加者が席をともにする座席配置のか、市職員の東村さんと大西さんの「一ディネーターで、シンポジストのお二人からお話をうかがいました。

その後、グループごとに自己紹介と簡単な感想質問を出し、あるいはシンポジストに投げかけました。たくさん市職員のみなさんが参加してくれて、交流もでき、これから東村山に期待がふくらみます(市長あいさつもいただきました)。

午後はお昼を食べながら、みんなで机を囲み、午前中の感想を述べたり、小林さん、井上さんに率直な疑問を投げかけたり、自分たちの課題について発言したりしました。

午後はお昼を食べながら、みんなで机を囲み、午前中の感想を述べたり、小林さん、井上さんに率直な疑問を投げかけたり、自分たちの課題について発言したりしました。

午後はお昼を食べながら、みんなで机を囲み、午前中の感想を述べたり、小林さん、井上さんに率直な疑問を投げかけたり、自分たちの課題について発言したりしました。

■小林七子さん 「三鷹市と協働するNPO法人の活動のようす」

三鷹市が2000年に「みたか子育てねっと」というホームページをつくることになり、その中の市民が持ち寄った情報を発信するコーナーの制作ボランティア募集を見て応募しました。応募者60名のほとんどが子育て中の母親でした。それまで私は市民活動とは縁がありませんでしたが、私と同じように子育てで働けない女性の多さに驚き、問題意識を感じました。その後、2001年に会を発足、代表となりました(2002年に三鷹市ビジネスプランコンテストで商工会特別賞を受賞し、同年9月に法人化)。

法人の設立したものの、最初は計画書

■井上 仁さん 「三鷹市と市民の協働の理念およびそのしくみ」

1990年三鷹市の基本計画の策定にあたり、「みたか市民プラン21会議」に市民委員を公募しました。375人の市民委員が集まり、10の分科会で約3年の会議



※「子育てコンビニ」の主な活動

みたか子育てねっと内子育てコンビニ運営、「赤ちゃんといっしょ!三鷹おでかけマップ」作成、みたか都市観光協会ホームページ作成更新など。<http://www.kosodate.or.jp/>

現在は価値観が多様化しているので、一方的な意見は理解されないことが多いですね。市民団体も多面的な考え方で、職員等と話をし、上手くいかなくとも、その経験を積み重ねていってください。そうして、面的に考えていく方がいい。

2回目は、東村山市で行政とNPOの協働をすすめていくためには、どのような課題があり、その解決には何が必要なのかということを、参加者みんなで考えてみようというワークショップ型の勉強会でした。

多くの市職員や関係団体からの参加者が頭をつきあわせて、実際の協働事例を材料に考えてみました。

別の団体の事業内容を聞いて検討してみると、というのは、みんなはじめての経験でしたが、それぞれ深い議論ができる有意義な時間となりました。それぞれの立場に立つてのアイディアを出し合つことは、お互いのことを理解しあえるきっかけにもなると思いました。

東村山こども劇場 「シンポジウム 私たちの街・東村山の未来を描く ～ホンモノの協働を目指して～」

文化活動により人をつなぎ町を活性化することの学習。行政とNPO等の実行委員会方式で、協働で運営することが織り込まれた、文化庁による「文化芸術による創造のまち支援事業」の一事業。

市民協働課

「ふれあいセンター」

市の施設を直営でなく、地域の自分たちの施設として地域コミュニティが自ら管理することによる自治意識の向上をねらう。またそのことにより、地域のニーズにあつた事業展開ができる。

雑記報

■猛烈に暑くて長かった夏も、ずいぶん前のこのとおりに思います。疲れと急な寒さで体調を崩す方がも多いようですが、みなさまお元気でしよう。■今号は「協働を学ぶ会」の報告が中心です。なんのことやらさっぱり…という方が多いとは思います。実はこれからこの時代に必須の課題。まちづくりにおいていく予定なので、興味のある方はご参加ください。■公民館との協働事業「赤ちゃんとママのためのわらべうた&おしゃべりタイム」(全6回講座)。後期の秋津バージョンが11月5日から始まりました。募集を超えた親子が参加してくれています。■子育て情報誌「トコトコ通信」は、おかげさまで12月号で100号を迎えます。子育て中のママたちが同じ子育て中のママ達へと発行し始め、世代交替を経ての活動に拍手! 毎月折り込みのお手伝いにきてくれる皆さんのお手伝いにきてくれる皆さんの応援あつてのトコトコです。11月25日の印刷日には簡単なお祝いの会も。詳しくはトコトコ通信を見てください。■来年は市長と市議会議員の選挙もあります。HUGとしても注目しています。■少し早いですが、今年も大変お世話になりました。皆様よ